

吹上峠駐車場～馬の背台～大平山～塔ヶ峯～四方台～貫山～偽水晶山～
水晶山～偽水晶山～広谷台～岩山～周防台～桶ヶ辻～貝殻山～堂金山～
不動山～風神山～大かんの台～三笠台～吹上峠駐車場

吹上峠駐車場からの 平尾台17座

2021年5月29日

2月からの平尾台通いで、フィールド内のルートもほぼ把握した。今回はおさらいのつもりで平尾台にある山頂を1日で踏んでみようと思い立った。自分で選んだ19座、頑張って歩いたが、権現山を飛び抜かしてしまう痛恨のミス。しかもタイムアップでラクダ山を断念。とても暑い日だったので体力の消耗も激しく、思うように足が運ばない。スタート時間が遅かった。



塔ヶ峯への途中、以前は岩壁で巻道を歩いたが今回は直登。塔ヶ峯の断崖絶壁に息をのむ。

<コース概要> ①～⑰は登頂したピーク

1、吹上峠駐車場 8時50分～ 2、①馬の背台～ 3、登山口～ 4、②大平山～
5、塔ヶ峯分岐～ 6、③塔ヶ峯～ 7、塔ヶ峯分岐～ 8、④四方台～ 9、⑤貫山～
10、⑥偽水晶山～ 11、⑦水晶山～ 12、偽水晶山～ 13、⑧広谷台～ 14、⑨岩山～
15、中峠～16、⑩周防台～ 17、⑪桶ヶ辻～ 18、芳ヶ谷～19、⑫貝殻山～20、⑬堂金山～
21、⑭不動山～ 22、不動坂分岐～ 23、⑮風神山～ 24、⑯大かんの台～ 25、⑰三笠台
26、千貫岩～ 27、平尾台自然観察センター ～ 28、吹上峠駐車場 17時14分

今日はいつもと違ってのんびり歩くことができない。平尾台の山頂を巡るチャレンジデー。



1、吹上峠駐車場 8時50分 スタート

まずは駐車場の裏手にある馬の背台を目指す。一旦階段を下って、左に回り込む。



駐車場の横から一直線 8時51分

山頂が見えてはいるが・・・この馬の背台は私有地なので途中までしか登れない。



2、①馬の背台 8時55分

3分も上ると立入禁止。ここを山頂とするしかない。山頂はすぐそこなのにUターン。



お天気最高



駐車場を右に見て、上ってきた道を下る



3、登山口 8時59分 道路を渡ると登山口

馬の背台の往復でウォーミングアップ終了。いよいよこの登山口からが本番となる。

取り付き時間が少し遅いので焦りながら上ることに・・・。



もう既に夏の気配



足下にたくさんのムラサキツメクサ



少し上って馬の背台を振り返る 9時11分



かなり上ってきたぞ 9時24分



4、②大平山 9時33分 586m
大平山は<おおへらやま>と読みます。



2座目



分岐を直進 9時43分
山頂から先へ進むと、中峠や茶ヶ床園地方面に下る分岐がある。直進は貫山へ。



九州自然歩道



5、塔ヶ峯分岐 9時46分

鉄筋に小さな手作りの道標が・・・。「テープ頼りの山道です」と表示されている。



痩せ尾根へ



これも手作り



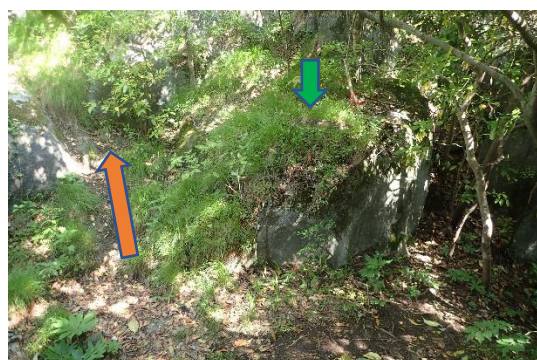
最低鞍部に辿り着く 9時54分



大きなカタツムリ



苔生す石灰岩



大きな岩の壁 10時02分

前回^は道標に従い、ここから右への巻道を進んだが、今回は左の岩壁を攀じ登る。



<塔ヶ峰>

巻道がハッキリしているので、この岩壁の薄い踏み跡に気がつく人は少ないだろう

岩壁を10m程よじ上ると、そこは断崖の縁だった。樹間から覗き込むと正面に垂直な岩塊。



塔が峯の横っ腹は断崖絶壁。迫力満点。この光景には驚きを隠せない。
初めて見る景色なので腰を下ろしてじっくり眺めた。



左を見ると、大平山の裏側の景色。表側の羊群原の表情とは全く違う。

塔ヶ峯のコースは初心者の方は、必ず経験者と共に歩いた方が無難だと思う。



樹林帯に突入 10時17分

断崖の縁に沿った道はすぐに終わり、樹林帯に入る。そこは巻道との合流地点。ここからはまたテープに沿って先へ進むが、このテープの間隔が長いし、見つけ難い。積もる落ち葉がルートを隠し、時折「アレっ？」と不安になることもある。この辺りは360度同じような景色なので、注意深く進もう。



手作りの小さな道標を発見！ 10時28分



塔ヶ峯分岐から42分もかかってしまった。



6、③塔ヶ峯 10時29分 582m

森の中に射す太陽光のせいで、森が斑(まだら)模様のように見える。樹木と同化している山頂碑は見つけ難かった。



小休憩

展望台や天狗の舞台はパスして往路を戻るが、復路は巻道を利用



巻道で岩壁まで戻ってきた 10時54分

草の上に置いてあるだけの古びたこの道標も、すぐにどこかへ飛んでいきそうだ。



文字が見辛い



サルノコシカケ？



手作り道標を通過



7、塔ヶ峰分岐 11時08分
やっと塔ヶ峰分岐まで戻ってきた。ヤバい！
もうこんな時間。塔ヶ峰で遊び過ぎた。



ギアを上げる



次に向かう四方台への急坂と貫山(左)



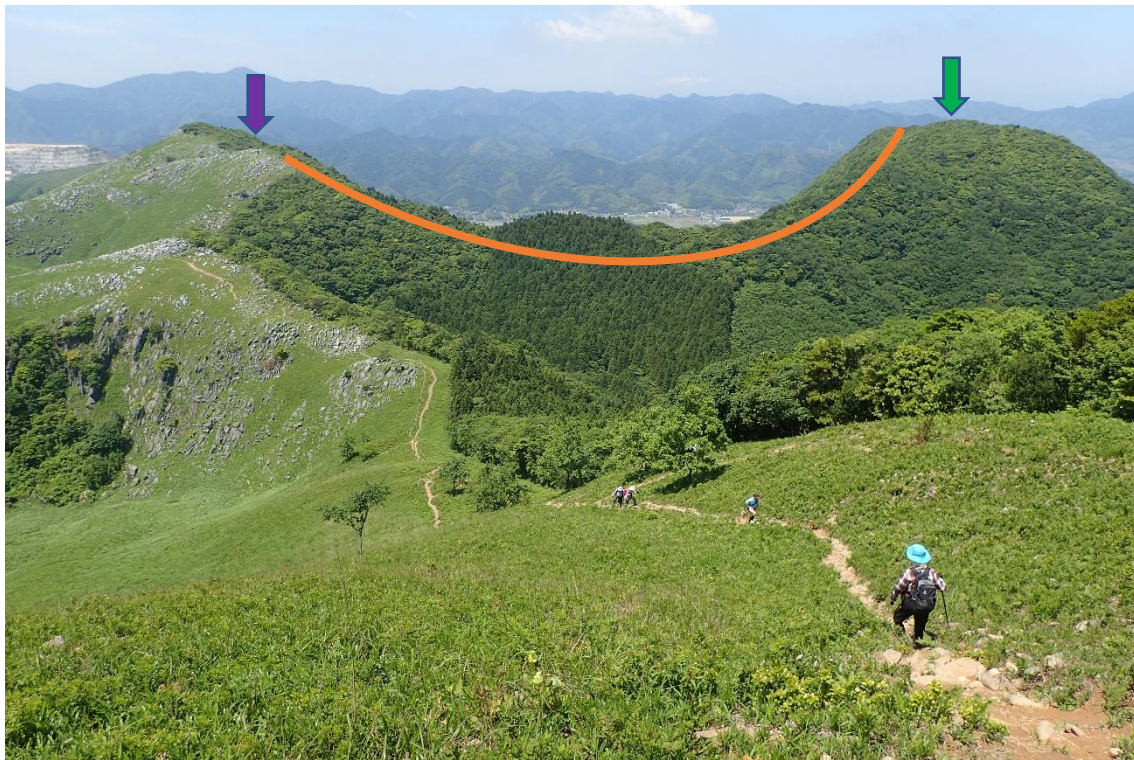
ヤブジラミ



小穴十字路 11時22分



振り返って小穴を除く 11時32分



急登が終わる頃、再度振り返る 11時33分 先程歩いた大平山から塔ヶ峰への痩せ尾根を確認



8、④四方台 11時35分 618m

急登も終わり四方台へ到着！まだまだ先は長い。休憩なく通過！



滝汗



林道出合いを直進 11時39分



長～い急登が続く 11時47分



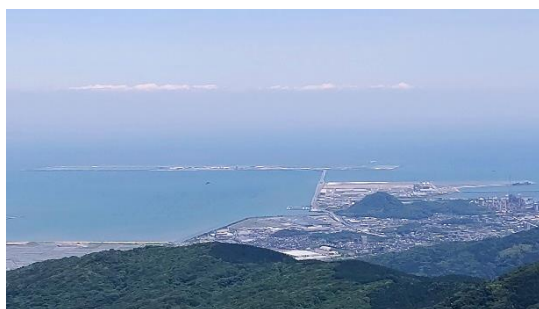
9、⑤貫山 11時54分 711m

山頂では数組の家族連れがお弁当タイム。
自分もここで🍱一つ頬張った。



上貫迄は未踏

今日は快晴。空気も澄んでいる。



遠く北九州空港の海上滑走路が見える



長閑な山頂風景を横目に下山 12時06分



林道出合い到着。ここを左折して水晶山へ



黄色の保安林標識が目印となる 12時15分



十字路分岐 12時20分 直進

右折し下ると、鉄柵経由で広谷台方面の車道
に出ることになる。



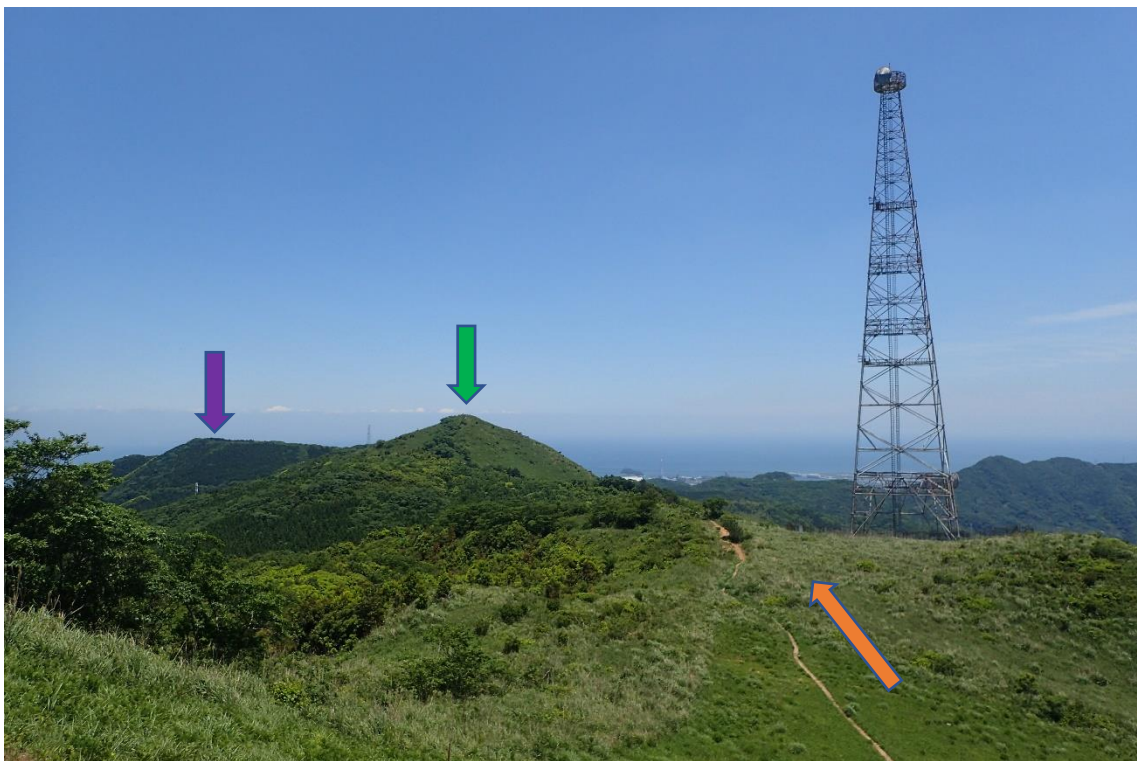
錆びた看板が目印



開けた場所。右に建物の基礎？が残っている。



無線中継所の鉄塔が現れた 12時22分



ルートは鉄塔の左側を通り偽水晶山へ続いている。そしてその左奥に水晶山が見えている。



偽水晶山への分岐 12時28分

右に進むと、鉄塔近くの車道に降りるが、進行方向は左の水晶山方面へ。



水晶山往復だ！

	10、⑥偽水晶山 12時40分 566m 狭い山頂。景観は抜群！ 
	一つ目の送電線鉄塔を通過 12時47分 道は送電線鉄塔の右を通っている。鉄塔の横から右下を見ると・・・防火帯の筈だが。  気温上昇中
 草が茂り、防火帯の跡が消えている。	 約100日前(2月21日)に撮影した同じ風景
 更に進んでアップダウン	 この分岐を稜線通りに直進 12時50分



二つ目の送電線鉄塔を通過 12時51分

送電線の下を潜って先へ進む。



また上り

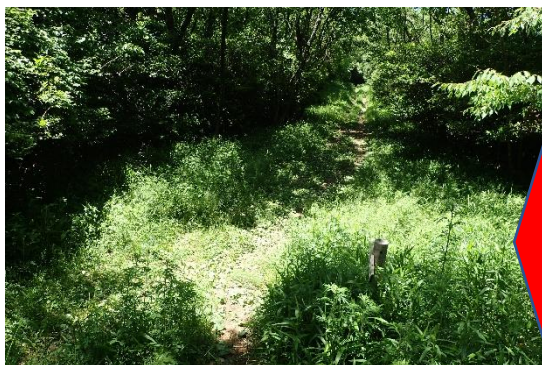


道標が見えるぞ！ 12時54分

水晶山は道標に従ってここから左に下ることになる。ここから尾根が分れる。



右は等覚寺方面



少し下ると道は平坦に 12時57分

草茫々でビックリ。このまま歩くと水晶山の山頂だが、これって夏になって歩けるの？



約100日前



11、⑦水晶山 13時00分 531m

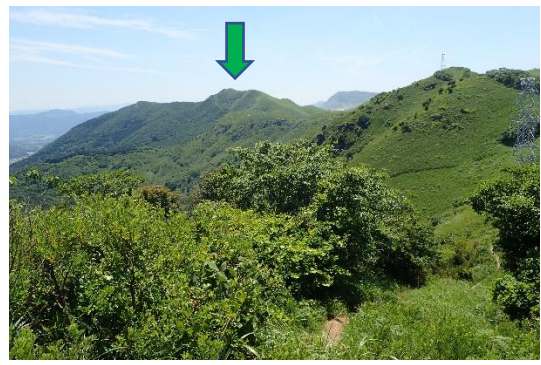
貫山から54分だった。ここで💧一つ頬張った。これでまた力が出るぞ！



とにかく暑い！



水晶山から一気に大返し 13時04分



尾根に戻り復路を見れば遥か遠くに周防台



二つ目の送電線鉄塔を潜り 13時12分



必死に下って、上って



一つ目の送電線も通過 13時16分



道中ヤマツツジから元気をもらう



12, 偽水晶山 13時25分 566m
復路で2度目の登頂！



快調！



いい眺め。でもゆっくりは出来ずに先を急ぐ！ 13時25分



稜線歩きを終えて飛び出すと…13時35分



鉄塔近くの車道終点 13時36分



平尾台無線中継所を通過 13時37分
コンクリの壁にステンレスのプレート。



そう言えば、水晶山往復で出会った人は二人だけだった。



次の目標は**広谷台** 13時38分

車道でパトロールカーとご対面。笑顔で会釈。毎日パトロールご苦労様です。



平尾台パトロール



車道から**広谷台**へ 13時40分

車道から広谷台が見えているが、そこに至る道はどこから？それは舗装道路から一段降りた場所からの取り付きとなる。道標はないので、うっかりすると通り過ぎてしまう。広谷台からのルートを車道側に辿りながら、注意して歩くと、突然はっきりとした踏み跡が、車道の一段下に現れる。



広谷台へ続く気持ちの良い一本道



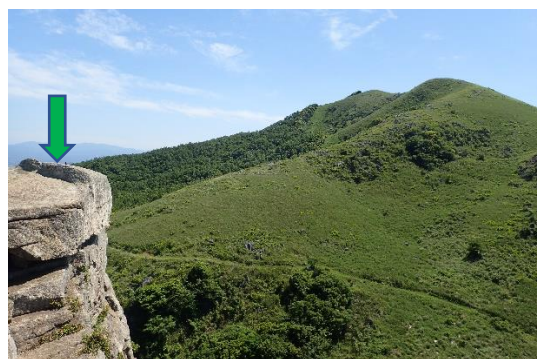
ヒメジョオン



薄茶色だった笹が青々と化粧直し



周防台も近づいてきた

	13、⑧広谷台 13時50分 510m 誰もいない広谷台で寝ころんだ。このまま眠ってしまいそうに・・・。  英彦山遠望
 次は鬼の唐手岩に寄り道	 鬼の唐手岩到着 14時02分
 岩の先端に立つ勇氣は全くない	 大きな岩塊が積み重なっている
	広谷湿原の入口へ向かう 14時03分 鬼の唐手岩を背にして台上を左に回る。すると、車道から広谷湿原に入る分岐が見えてくる。この分岐が次の目標だ。ハッキリとした踏み跡も、この季節になると草で少し隠れている。道は台上の縁を辿り緩やかに下って行くが、途中の岩場から真っ直ぐ下ることになる。そして一面笹の海の中へ。



岩場の間をすり抜けながら下って行く



笹が茂って足下が見えない 14時08分



広谷湿原への分岐 14時10分 左へ
夏にはまたサギソウに会えるかな？



新設



正面から見た広谷湿原への分岐



左の周防台を見上げながら車道を歩く



中峠分岐手前から右の急登へ 14時16分
これから急登を上って岩山を目指す！



直登！



一気に登って振り返る 14時20分 正面の周防台がとても綺麗だ
そしてまた振り返り岩山方面へ進む



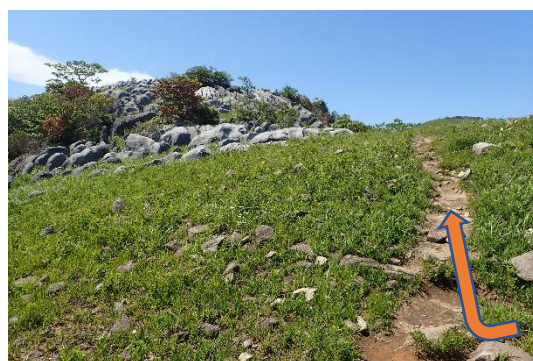
風薫る岩山と石灰岩



約100日前(2月21日)に撮影した同じ風景



岩山を右に見ながら下り...



途中の踏み跡から上り返して岩山山頂へ



14、⑨岩山 14時28分 549m
石灰岩の前に道標。低い位置に立っている。



往路を戻って中峠を目指すが、岩山の斜面(茶ヶ床園地側)にちょっと寄り道。



岩山には大きな石灰岩が横たわっている 14時30分 川の流れるようにも見える



往路に戻り更に下ると分岐に出会う



左に進むと中峠 14時38分



15、中峠 14時41分 車道に出て右へ



この道標も新設



50m程下った分岐から左の斜面を上る



柵を越えたら右へ。次に目指すは権現山！



文字が薄くて読み難い 14時43分



上につれ権現山が迫る 14時47分



ウツボグサ

黙々と上る(この時、権現山を失念)

時計を見ると3時に近い。現在9ピーク踏破。残りは10ピーク。いくら低山と言えど、まだ10ピークを残しているとなると・・・もう笑うしかない。自分の計画が甘かった。最後に考えていたラクダ山は諦めるしかない。そんなことを考えながら上っていたら、権現山を失念して周防台が目前に！しかし、このことを理解したのはまだ先だった。



周防台の急登を上り詰めてホッとする



山頂まであと少し 14時57分



16、⑩周防台 15時00分 606m



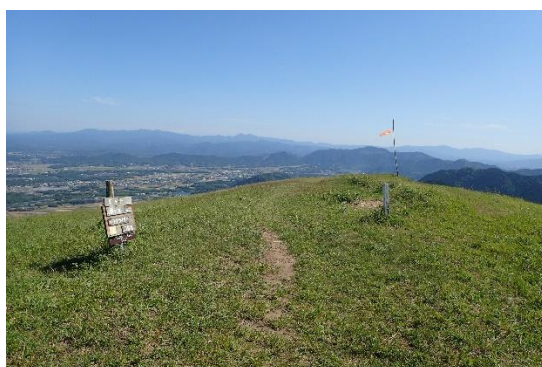
中峠から19分で上ってきた！



次は天空の尾根歩きで桶ヶ辻を目指す！



途中で芳ヶ谷への分岐を通過 15時13分



17、⑪桶ヶ辻 15時15分 568m
パラグライダーの聖地。広々とした山頂を独り占め。吹き流しだけが風に揺れていた。



誰もいない



桶ヶ辻から貝殻山を目指す！ 15時16分
 ルートは芳ヶ谷へ直接下るルートを使う。往路で先程通過した分岐まで戻ることにと、ここで痛恨のミスに気がついた。なんと、周防台へ上る途中、権現山の山頂を踏む予定だったのに・・・すっかり忘れていた。焦っていたせいか、上ることに精いっぱい・・・呆然と立ち尽くしてしまった(悲)



芳ヶ谷への分岐 15時18分 左へ



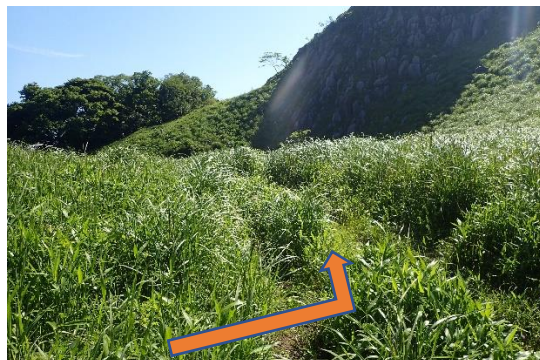
岬のように飛び出た尾根を進む 15時18分



今度は急降下 15時22分 真下に芳ヶ谷そして次の目標の貝殻山



右側の立ち木に沿った道で下る 15時28分



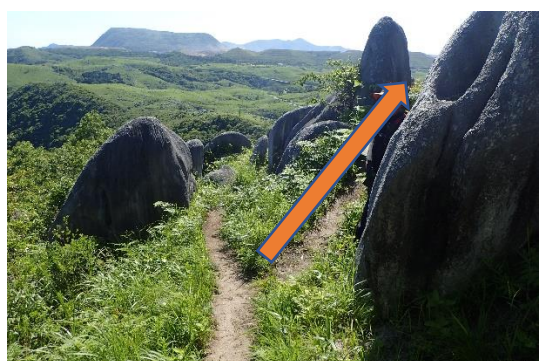
18、芳ヶ谷 下り終えて左へ 15時29分



森には入らず右へ 15時30分



貝殻山の左の裾野を上る 15時31分



上り詰めて少し下ると分岐を右 15時33分



しっかりした踏み跡で山頂まで



19、⑫貝殻山 15時37分 472m
のんびりしたいが先を急ぐ！





往路を下り先程の分岐から右へ 15時41分



貝殻山を下り終えた 15時46分



車道に出て左へ 15時47分 次は堂金山



千仏鍾乳洞入口手前を右へ



20、⑬堂金山 15時52分 404m
山頂碑が無くなっていた。現在交換中なのか？二つの石柱を山頂碑としよう！



山頂碑残念



シラン



フナバラソウ

堂金山から不動山を目指す！



21、⑭不動山 16時01分 404m

「アレッ？」ここも山頂碑がない。そう言えば不動山の山頂碑も壊れていたの、きっと交換手配中なのだろう。ところで、山頂碑のあった場所はどこ？記憶が曖昧で情けない。わからずにウロウロ。仕方ないので、取り敢えずこの辺の岩を山頂としておこう。と、背景の天狗岩と共に写真を撮った。

気を取り直して先へと進む。今度の目標は風神山。



不動坂分岐まで下り、正面の風神山へ上り返す 16時07分



22、不動坂分岐 16時09分



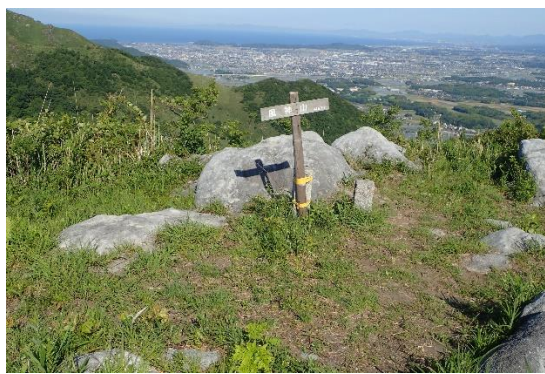
ここから辛抱の上りとなる



この急坂も結構堪える 16時11分



急坂が終り山頂広場 16時16分



23、⑮風神山 16時16分 418m
山頂らしくない山頂。この辺りは平尾台でも
風が強い事で知られている。



大かんの台へ



風神の祠 16時18分 通過
台地に吹き荒れる風を鎮めるために、この
祠が建てられたそうだ。



明治32年建立



この先のピークが大かんの台 16時19分



今日登山道で一番目についたのはアザミ



24、⑩大かんの台 16時25分 432m
地の果ての最後の山頂に到着！



しかし、この大かんの台からまだ先に道は続いている。先へ進んでみると・・・。



ポールの立つピーク 16時26分
稜線の踏み跡はここで終わっている。ここが
本当の台地の果てのようだ。



このポールは何？



ポールの立つピークから三笠台が見える 16時27分 これより三笠台に向かう！

	薄い踏み跡を辿って 16時31分 ポールの立つピークから農道に下る際、以前と比べるとびっくりするくらい草が覆い茂っている。途中にある檻のようなものを目印に、右カーブして下って行くが…。 農道に近づくにつれて益々草が覆い茂って完全にヤブ化状態。野焼き後に一度歩いていなければ歩くことは出来ないだろう。
	
草が覆い茂り、道が消えた！ 16時35分	約3ヶ月前(2月27日)に撮影した同じ風景
	
伸びた草を掻き分け、掻き分け	やっと農道に出た 16時36分 左へ
	千貫岩駐車場 16時39分 農道を歩くと千貫岩駐車場に辿り着く。そこから右に上って三笠台へ。  今日は車が多い

	25、㊶三笠台 16時43分 433m サクッと登って、サクッと下山！  往復9分
---	---

残るはラクダ山。現在の時間は夕方4時43分。吹上峠駐車場まで帰らなければならないことも考えると、本日のチャレンジ登山はここで潔く終了することにした。

	
千貫岩駐車場に下り農道を右へ 16時48分	県道28号に出て吹上峠駐車場まで約2km
	26、千貫岩 16時51分 平尾台で一番大きな石灰岩ということだ！  新設標識
	
牡鹿鍾乳洞の入口を通過 16時58分	27、平尾台自然観察センター 17時00分



駐車場前の点滅信号を通過 17時01分



散策路ゲートを通過 17時10分



吹上峠駐車場が見えてきた 17時12分



28、吹上峠駐車場 17時14分 ゴール

千貫岩駐車場から吹上峠駐車場まで、約2km弱を歩いて26分。

今回の所要時間は、8時間24分。スマホの歩数計は37747歩だった。

今日の反省点は、まず第一に出発時間が遅かった。自分の実力から言えば、あと2時間は早く出発しなければ、目標の19座は達成しないであろう。第二に時間配分の悪さ。初めて歩く塔ヶ峯の直登コースで絶景に見とれてしまい、いつものペースで歩いてしまった。これが後々響いたような気がする。そして、最後に途中でどうしたことが権現山を飛び抜かしてしまい、完全に戦意喪失。焦って歩くとこうなりますね。

いつかはリベンジしたいと思うが、これからの暑い季節はちょっと無理かも？秋が深まり涼しい気候になったら再度挑戦するかも？ お疲れ様でした。